

■ドイツ：ドイツ太陽光発電機器企業、アジア企業の市場進出で経営危機に直面

フランス紙は 2009 年 8 月 19 日、ドイツの太陽光発電機器企業は、中国企業が製造する低価格機器の市場流通化によって国際競争力を失ってきており、売上高の急減によって未曾有の経営危機に直面していると報じた。同紙によると、中国企業は安価な人件費によって製造コストを圧縮することが可能であり、ドイツ製に匹敵するような高品質機器を、ドイツ製機器の 3 分の 2 程度となる低価格で販売しているという。また、中国企業だけでなく、台湾や韓国、インドの企業なども、太陽光パネル事業に相次いで参入してきていることから、今後もドイツ企業は国際競争力の面において、苦境に立たされる可能性が指摘されている。